

夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行
 〒610-0121
 城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階
 城陽市国際交流協会内
 電話 0774-57-0713



夢気球の思いを発信しました!

第17回さんさんフェスタに参加、活動紹介



3階 民族衣装とプラ板作り

2月9日(土)、文化パルク城陽で開催された「さんさんフェスタ」に参加して、活動展示や市民交流をしました。夢気球の活動は、ふだんは個別の日本語教室なので市民の目に触れにくいのですが、「さんさんフェスタ」の場をお借りして「夢気球」の思いを参加者に広くアピールすることにしました。「さんさんフェスタ」は市民交流を目的に、国際交流も柱の一つとして毎年この時期に行われています。今回はジェフ・バーランド氏の異文化コミュニケーションの講演があり、国際交流への関心がより一層増すことが期待されます。

おしゃべりの集い

ケーキとお茶で

「ケーキとお茶で300円」の会合を12月と1月に行いました。それぞれ支援者の方が3名位で、運営委員を含め10名以上の出席数で、約2時間、胸の内にある事を出し合いました。(と、思っております)

夢気球が発足して早いもので1年強ですが、支援者の大半の方は文字通り「手探りの状態」で活動されていると拝察しています。自分なりに準備してレッスンをするので、終了後に「あれで

①学習者の要求(ニーズ)を的確につかんだ上での対処が必要ではないか
 ②漢字の教え方をどうすれば?
 ③学習者に目標を与えるべきか

④可能な限り学習者に話す機会を与える(間違っても大きなものでなければ訂正せず)
 ⑤学習時は日本語で通すが、理解が不十分な際は、英語や漢字を使って説明
 ⑥複数の学習者の場合には、なるべく均等に発言できる様に配慮しているが、レベルが異なるので頭を悩ませている
 ⑦学習者が活発に話している際でも、支援者がペース配分等は決定する。等々

とにかく、「毎月1回の集いを継続させよう」と思っています。

●活動紹介と

ティーの香り

3階の「夢気球」展示室は写真36枚を展示、日本語教室風景を紹介しています。参観された方は日本語教室が増えていることを実感していただけたようです。JICA(国際協力機構)の青年海外協力隊提供のカラフルなアフリカ衣装展示、海外活動のパネルと合わせて、ご覧になっていました。

展示室には外国のお茶とお菓子の喫茶コーナーも設置しました。モロッコの衣装を着たボランティアスタッフが、お茶を出します。BGMにはインドのゆつたりとした音楽が流れています。チャイやイングリッシュ・ティーなど各種のティーの香りとクッキーやキャンディを楽しみながら、(市民)「外国人に日本語を教える時、英語で話すのですか?」(夢気球)「日本語でやっているので、英語は使わないですよ。はっはっは。」と活動の話もはずみしました。たくさん写真を見ながら、活動の広がりを感じてくださったようです。

隣の机では子どもたちが、外国語を書き込むプラ板作りで熱中しています。そばで今回協力していただいたアテマさんがアラビア語の綴りを教えます。初めて見た「右から左に書くんですね!」と感動されていました。企画担当の渋谷さんが手作りの「外国のあいさつ言葉」を見て、「一つの言葉で朝も昼も夜も使える国があるんですね」と感心された方も。



3階 喫茶『夢気球』

今回の「さんさんフェスタ」は「夢気球」にとつて2回目の参加となりました。少しずつですが活動の広がりを見ながら、市民に広げていく機会になったといえそうです。当日の11名のボランティアスタッフのみならず、お疲れ様でした。また前日までいろいろな方に展示物などをお話いただき、ありがとうございました。片岡敬愛

次回、3月1日(金)

を予定していますので、お気軽に参加して下さい。

広報担当 村上弘芳

「ばいばいYOYO」日本語教室

年末・すぎ焼きパーティー



すぎ焼き鍋を囲んで

昨年末、夢気球の日曜クラスのすぎ焼きパーティーに参加させていただきました。中国人とベトナム人の学習者、日本人の支援者と、3か国の国民が集まった忘年会です。まず、席順を決めるため、あみだくじをしました。ホワイトボードに線を引く私に、「何をしますか?」と不思議そうに質問する学習者。その様子に「あみだくじは日本だけのものなのか。中国にならありそうなの。」と支援者の感想。学習者と交流していると、このように改めて日本語を

中国と日本の新年について

新年おめでとうございます。日本のお正月は過ぎましたが中国のお正月はこれからです。中国の新年は旧暦なので、2月9日が除夕(チュウシ)即ち日本の大晦日です。日本では大晦日(12月31日)にお節を作ったり、年越しそばを食べたりする文化があります。中国では除夕の朝まずドアの上に春聯(しゅんれん)を貼ります。春聯とは年越しの日に玄關の左右に貼り付ける一対の赤い長い紙でそれぞれ美しい筆跡でめでたい文句が記されています。

朝食はいろいろ 昼食はいろいろ 春聯の酒を飲んだり 全員で食べたり 春聯の酒を飲んだり 全員で食べたり 春聯の酒を飲んだり 全員で食べたり

新しい仲間の紹介

岡田知子さん

はじめまして。岡田知子と申します。この度「夢気球」のメンバーに入れていただき、大変嬉しく思います。私は生まれてから高校まで京田辺市で育ちました。大学時代は大阪・箕面で下宿し、就職後は初任地の福島県で5年間を過ごし、その後京都に転勤となり、現在は京都市在任です。

大学時代に海外旅行に目覚め、長期休みは必ず海外へ。事前準備は約10kgのバック一つと飛行機チケットだけ、あとは「地球の歩き方」を片手に3週間1ヶ月の放浪、と

日本語教師になったきっかけは、大学時代に中国・北京に留学中の経験です。台湾の日本語学校が北京初開講ということで日本人を募集しており、運良く採用していただき、2週間の研修の後、日本語教師として主に社会人の方対象に授業をさせていただきました。その後も初任地の福島で日本語教師ボランティアとして多くの日本文語習者と接するうち、「もつと日本語教師として力をつけたい!」と考え、2011年10月より日本語教師養成講座を受講し、昨年末に無事修了することができました。

これからは「夢気球」のメンバーとして、少しでも日本で暮らす外国の方のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

岡田知子

待合室 私の健康法

私の健康法は、ズバリ「鼻うがい」です。元々、扁桃腺肥大で、子供の時からしょっちゅう腫れ、手術を勧められた頃、医療事故の報道があり、怖くて手術をせまぬまま何十年と来ました。「大人になれば少しはましになるかも」と言われましたが、さにあらず、長時間のおしゃべりや少し大声を出しても痛くなる程、か弱いのでした。ですから、今でも、無口でおしとやかなのはその為です。(笑)

さて、鼻うがいは、今から十年程前 ある女優さんが、健康法として毎日しているとのTVを見て始めました。私のやり方は市販薬など使わず、毎日の入浴時、シャワーで洗顔したついでに、「軽く鼻から吸って出す」を四、五回繰り返すだけです。時々、鼻から口に入りますが大丈夫です。必ず「お湯でする」のがポイントです。水だと恐怖の鼻ツーンになるので要注意です。▼このおかげで、二十回程、のどの痛みや風邪をひくことも殆ど無くなり、楽しくボランティア活動をさせて頂いております。宜しければ、是非お試し下さい。

上杉 順子

お知らせ

学習者の姜紅(池田ナナ)さんが去年12月に行われました日本語能力試験N2に合格されました。おめでとうございます。